

News Release

報道関係者各位

2020年7月16日

日本CSO協会 会長 阿部 安孝

「わが国のCSO事業に関する実態調査 -2019年度-」の概要

**2019年10月時点の稼働コントラクトMR数は3,445人(前年比+10.8%)となり、増加傾向に転じた
活用企業数はすそ野の拡大が続く中、前年に続き過去最多の130社に上った**

日本CSO協会では、2011年より国内CSOにおける医薬品のマーケティング・販売に係る事業実態を調査しており、2019年度のCSO市場規模(稼働コントラクトMR数およびCSO活用企業数)を発表しました。

2019年10月時点の稼働コントラクトMR数は3,445人で、昨年の3,110人から10.8%増加し、全MR数に占める比率も5.0%から5.8%に上昇しました。また、CSO活用企業数は、製薬企業に留まらず医療機器企業や医療機関等、広くヘルスケア関連企業へすそ野が拡大している状況を受け、昨年に引き続き過去最多の130社で推移しています。世界的に医療・ヘルスケアを取り巻く環境が大きく様変わりする中、CSO発祥のイギリスをはじめとする欧米諸国では、事業環境の不確実性に対応し、経営の柔軟性を高めるアプローチとして、CSO活用率(アウトソーシング率)は10%超に至っております。

わが国でも、1998年のコントラクトMR事業の開始以来、顧客ニーズが高度多様化し、CSOの活用方法はより戦略的なものへと進展しており、MSL(メディカルサイエンスリエゾン)^{*1}やエデュケーションナース^{*2}などの専門職、地域包括ケアシステムの推進を支援する職種など、MR以外の新たな担い手も活躍するようになってきました。また、特定の製品や疾患領域、エリア等を包括的に受託するCSOマネジメント型サービスをはじめ、営業・マーケティングからメディカル領域にわたる多様なサービスが展開されています。

こうした環境下、将来的に国内CSO市場もその在り方や活用率等において欧米に近い形へ推移していくことが見込まれ、弊協会といたしましても、変革する医療・ヘルスケア産業のパートナーとして、CSO業界の更なるサービス提供体制の強化を推進し、医療・ヘルスケアの向上に尽力してまいりたい所存でございます。

なお、全調査結果につきましては、例年4月に開催の「活動報告会」でご報告いたしておりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施を見送らせていただく運びとなりましたため、8月に発行予定の「わが国のCSO事業に関する実態調査 -2019年度-」(全調査結果)をお待ちください。

*1 各疾患領域で中心的役割をもつKOL(キーオピニオンリーダー)医師等に対し、医学的・科学的見地から情報活動を推進

*2 臨床経験のある看護師が、Peer to peerで実践的に治療アウトカム向上を支援

「わが国におけるCSO事業に関する実態調査 -2019年-」について

【調査対象】 日本CSO協会に所属するCSO企業6社

【調査事項】 CSO事業の動向、CSO企業およびコントラクトMRの状況

- ・ CSO市場規模の推移(コントラクトMR数、CSO活用企業数)
- ・ 導入目的別、疾患領域別にみたコントラクトMRの活用動向
- ・ 経験者、異業種出身者別にみたコントラクトMR数の推移 ほか

【調査時期】 調査基準日:2009年~2019年における10月1日

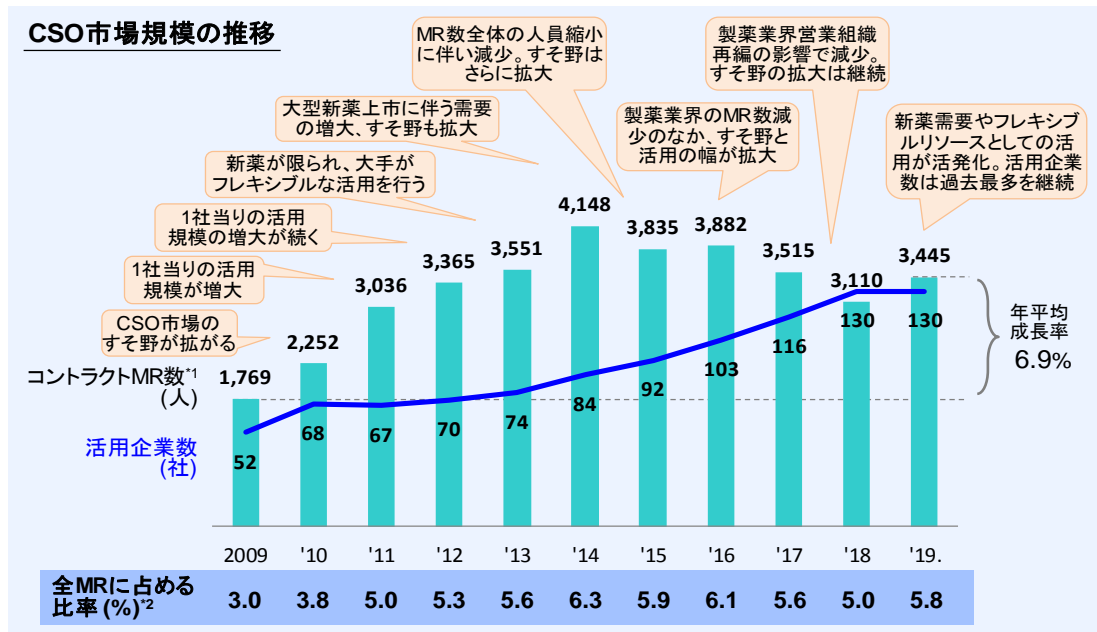
調査期間:2019年10月~2020年1月

お問い合わせ先 日本CSO協会 広報・マーケティング運営委員会 光山
メール: info@jcsoa.gr.jp (ウェブサイト: <https://www.jcsoa.gr.jp/> 内) 電話: 080-4089-5190

ロゴマークの4つの輪は、製薬業界、医療現場、患者様、そしてCSOをモチーフにしたもの。
その繋がり合いを大切に、さらなる成長・発展を目指していきたいという想いを込めました。

■ 国内 CSO 市場規模の推移(コントラクト MR 数、CSO 活用企業数)

- ✓ 2019 年度の国内稼動コントラクト MR 数は新薬需要に加え、製薬各社の営業・マーケティング体制の最適化や人件費の変動費化の動き等を受け、3,445 人と増加傾向に転じた(前年比 10.8%増、アウトソーシング比率 5.8%)
- ✓ CSO 活用企業数は、調査開始以来、すそ野の拡大が続いており、前年に続いて過去最多の 130 社に上った
 - 2019 年 10 月時点における稼動コントラクト MR 数は、前年比 10.8%増の 3,445 人と増加傾向に転じた。ここ数年は、薬価制度抜本改革等を背景として全 MR 数が減少傾向となっている中、CSO の活用も調整局面にあるが、2019 年度は新薬需要や各社営業・マーケティング体制の最適化、人件費の変動費化等の動きが活発化し、全 MR に占めるコントラクト MR 比率は 5.0%から 5.8%へ上昇した
 - CSO 活用企業数は、製薬企業に留まらず、医療機器企業や医療機関(病医院、薬局)等、広くヘルスケア関連企業へすそ野が拡大している状況を受け、前年に続き過去最多の 130 社で推移している



*1 MR 業務に従事する者のほか、医療機器担当者や MSL (メディカルサイエンスリエゾン)、エデュケーショナルナース等を含む
2009~2011 年については、受注ベースの人数から実稼働数を算出

*2 全 MR 数は、MR 認定センターによる「MR 白書」の 2008~2018 年度データ (各翌年 3 月 31 日付け調査) に基づく

■ 各国におけるアウトソーシング率と日本でのサービスの拡がり

各国のアウトソーシング率

	CSO 開始年	全MR数 (人)	コントラクトMRの占める比率 (%)
イギリス ^{*1}	1983	10,000	13.0
ドイツ ^{*1}	1993	13,000	16.9
アメリカ ^{*2}	1995	59,000	12.0
日本	1998	59,900 ^{*3}	5.8 ^{*4}

日本でも欧米同様に多様なサービスが伸展



*1, 2 日本 CSO 協会「わが国の CSO 事業に関する実態調査 -CSO 事業 20 周年特別号-」(2018)

*3 MR 認定センター「2019 年版 MR 白書」 *4 日本 CSO 協会「わが国の CSO 事業に関する実態調査 -2019 年度-」

ロゴマークの 4 つの輪は、製薬業界、医療現場、患者様、そして CSO をモチーフにしたもの。
その繋がり合いを大切に、さらなる成長・発展を目指していきたいという想いを込めました。